



各教科の指導の重点	
国語	各教科学習の基礎となる言語力の育成を図る。「話す・聞く姿勢」を徹底させ、話し合う力を育てる。また、読書活動を推進し、読む力を伸ばす。
社会	資料から必要な情報を集めて読み取り、社会的事象の意味や事象間の関連を解釈し、自分の考えをもつことなどを通して、より広い視野で公正に判断する能力や態度を養い、社会形成に参画する資質を育成する。
算数	数や図形の感覚を育てるために算数的活動を多く取り入れる。基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、発達や学年の段階に応じたステップ学習による指導を充実させる。
理科	自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力をつける。自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。
生活	言語活動などを通して、人とのかかわる楽しさが分かり、進んで交流できるようにする。活動や体験したことを言葉や絵で表す表現活動を一層重視する。
音楽	リズム、旋律、ハーモニーを大切に学習を展開し、基本的な楽器の奏法や発声ができるようにする。
図工	絵の具、道具や工具等の基本的な扱い方を基礎力として身に付け、自分の思いを自由に表現できるようにする。
家庭	家庭生活の基礎となる生活技能を、体験活動を通して学ぶ。自らの課題達成のために進んで調べ、手順を考えたり、よりよく工夫したりできるようにする。
体育	体づくり運動などで基本的な動きや柔軟性を身に付ける。また、運動量を確保するとともに自らめあてをもち、励まし合い、学び合いを通してかかわり合って学習できるようにする。

指導内容・指導方法	教育課程	研究・研修の工夫	評価の工夫	地域や家庭との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○学び合い、高め合う場面を設定することで、主体的に学ぶ意欲を高める。 ○教材研究の時間を確保し、指導を工夫して、よりわかる授業を行う。 ○算数ステップ学習や習熟度別指導、東京ベーシックドリルの活用など、個に応じた指導の充実を図る。 ○体験学習・問題解決学習を取り入れ、自ら課題を解決する力を育成する。 ○読書指導や言語活動を充実させ、各教科の基礎となる言語力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振替なしの土曜授業を年間9日実施し、学力向上のための時数を確保する。 ○土曜補習教室、学習カルテの活用により基礎・基本の力を定着させる。 ○読書週間、保護者による読み聞かせなどにより、読書活動を推進する。 ○全学年で外国語活動を実施し、国際理解教育を推進するとともに、言語に対する関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究を授業力向上の場とする。全学年・専科教員で研究授業を行い、オリパラ教育を通して、他者理解、異文化理解を図る。また、学び合い、高め合いを重視した授業を行うことができるようにする。 ○区の教育研究会の各部会で授業研究を深めたり、外部の研修に参加したりして、指導力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいを明確にし、1時間ごとの評価を生かして学力の定着に努める。 ○学校公開での保護者アンケート、外部評価などにより、授業改善を行う。 ○学習効果測定の個人票を基に、学習の定着状況を振り返らせ、目標に向けて学習計画を見直すことができるように学習カウンセリングを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「徳持スタンダード」を配布し、家庭と協力して基礎・基本の定着のために取り組む。 ○国際理解、健康、キャリア、環境教育、地域学習など、地域の協力による体験や交流により学びを広げる。 ○徳持応援団(学校支援地域本部)により、漢字検定など、地域の人材を活用し、地域の教育力を組織化し、教育活動をさらに充実させる。